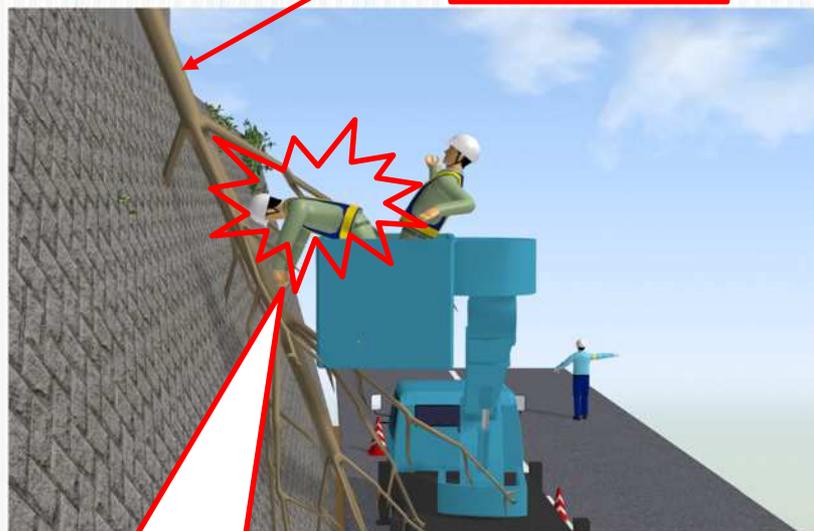
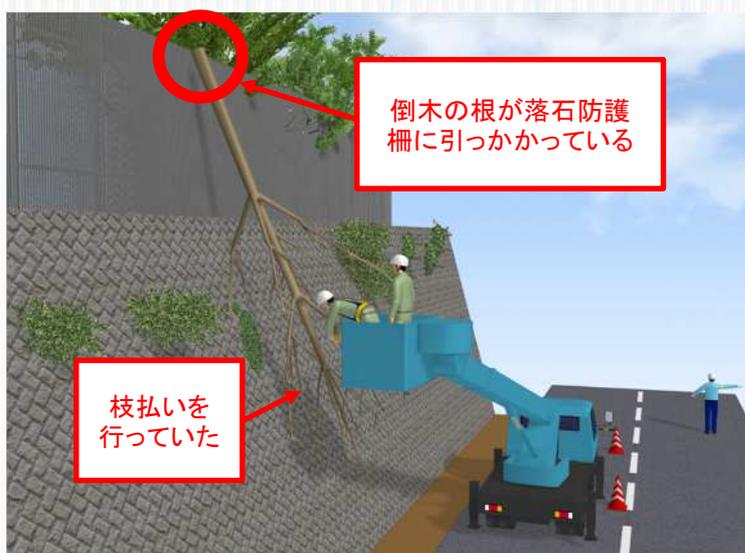


令和6年8月に国道135号で発生した**緊急作業中の工事事故**です。  
今後も事故事例や事務所独自の取組など情報を発信し、工事事故の防止を図っていきますので、よろしくお願いします。

## 倒木の撤去作業中に、倒木が作業員の頭上に落下！

【令和6年8月30日工事事故発生】



- ・落下した倒木がヘルメットに引っかかり
- ・頭部が下に引っ張られ
- ・高所作業車のバケットの手すり部分で強打

### 事故概要

倒木の根が落石防止柵に引っかかっている状態であったため、**倒木が落下することは無いと判断**して、手鋸で枝払いを始めたところ、倒木がゆすれ、倒木が落下した。

幹の出っ張った部分が被災者のヘルメットに引っかかり、頭部が下に引っ張られ、背中に倒木が寄りかかり、高所作業車のバケットの手すり部分に腹部を強く打ち、倒木が落下する際に枝葉で頬に擦過傷を負った。

熱海土木 工事事故 発生件数	事故 分類	工事関係 者(傷害)	第三者 (傷害)	第三者 (物損)	工事事故 合計	令和6年 9月末 現在
	件数	3件	0件	1件	4件	

## 事故原因

### ①【安全対策】

倒木の状況を確認し、落石防護柵に引っかかっているとわかっていたが、落ちることはないだろうと判断したため、具体的な**倒木の落下対策をせずに作業を行った**。

伐採工の作業計画書はあったが、**不安定な倒木の伐採手順については記載がなかった**。また、作業計画書は、技能実習生や特定技能の作業員にわかりやすい仕様ではなかった。

### ②【安全意識】

倒木により大型車の通行に支障があり、早急に交通開放をするために焦って作業を行ってしまい、安全に対する意識が薄れていた。現場の作業員4名と現場代理人は、**倒木は落下しないだろうと思い、倒木の落下について注意がおろそかになっていた**。

### ③【倒木の監視】

倒木の根が引っかかっている部分には周辺の枝葉がかぶさっており、道路上から容易に引っかかり部分を視認することはできなかった。監視員は、倒木の根を監視できる位置に移動しなかったなど、**倒木を監視する役割の認識が不足**していた。



## 再発防止策

### ①【安全対策】

倒木が落下する状態である場合は、**ワイヤー・ロープで周辺の木や落石防護柵などの2点以上に固定**し、倒木が落下しないようにする。

固定が困難な場合はラフターやユニックを用意し、倒木を安全に作業できるところへ移動してから切断・撤去作業を行う。

伐採工の作業計画書には、**倒木が不安定な状態の伐採の手順を追加**する。作業計画書は技能実習生や特定技能の作業員にわかりやすいように、ひらがなの表記をする。

### ②【安全意識】

定例会議などで、工事を急ぐ場面でも焦る気持ちは抑え、**安全を優先することの重要性を再教育**する。

定例朝礼などで、作業員に安易な判断をせず、どうしたら安全に作業ができるかを話し合う機会を設け、**工事事故事例やヒヤリハットを基にした安全教育を継続**する。

作業前のKY活動では、当日の作業内容、作業手順、各自担当作業を周知し、**役割に応じた作業中の危険を予知**する。

### ③【倒木の監視】

監視者は倒木を監視できる位置に配置する。もしくは、周辺の枝葉を伐採し倒木が見える状態にする。**監視者には安全教育を行い監視の役割を理解**させる。

監視者は異変を察知したら速やかに**警笛で作業者に作業中止と退避を指示**する。